

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2001-513566 (P2001-513566A)  
 【公表日】平成 13 年 9 月 4 日 (2001.9.4)  
 【出願番号】特願 2000-507383 (P2000-507383)  
 【国際特許分類】

**A 6 1 K 31/56 (2006.01)**

**A 6 1 P 15/18 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 K 31/56

A 6 1 P 15/18

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 19 日 (2005.8.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ヒトの避妊のための組み合わせプロゲスチンおよびエストロゲンホルモン法および療法用組み合わせ物であって、

(a) 7 ~ 14 日の期間単一 1 日用量において、エストロゲンと組み合わせさせて投与される避妊に有効量の子宮内膜節約性プロゲスチンを含む組み合わせ物；

(b) 7 ~ 14 日の期間単一 1 日用量において、エストロゲンと組み合わせさせて投与される避妊に有効量の萎縮性プロゲスチンを含む組み合わせ物；

(c) 21 ~ 90 日の期間、(a) および (b) は繰り返し投与されるものであり；

(d) 約 7 日の期間、(a) および (b) は投与が中止されるものであり；そして

(e) (a) ~ (d) に記載の投与スケジュールは繰り返されるのものであることを特徴とする、エストロゲンと組み合わせさせた 2 種以上のプロゲステロン様作用剤を含んでなる組み合わせ物。

【請求項 2】 用量単位の総数が 21 個に等しくなるように、製薬的に許容しうるキャリアーと混合されて、避妊に有効量の子宮内膜節約性プロゲスチンおよびエストロゲンの組み合わせ物を含む、7 ~ 14 個の用量単位；続いて、製薬的に許容しうるキャリアーと混合されて、避妊に有効量の萎縮性プロゲスチンおよびエストロゲンの組み合わせ物を含む、7 ~ 14 個の用量単位を含んでなる、連続的に毎日経口投与するために適合された、21 個の別々の用量単位を含む製薬包装を含む薬物送達システム。

【請求項 3】 エストロゲンおよびプロゲスチンを含むしない付加的な 6 ~ 8 個の用量単位を場合によって含む、請求項 2 記載の薬物送達システム。